

# おしえて???



感染力が強いと言われていて、はしか（麻疹）について聞きました。

はしかは発熱、咳、鼻水の症状が二〜三日続き、一度熱が下がってから高熱、発疹が出て治るまで七〜十日間かかる病気です。肺炎、脳炎を起こして亡くなったり、失明することもある怖い病気です。昔は「いのち定め」と言われていました。（ちなみに天然痘は「器量定め」）感染力が強く始めは風邪と見分けがつかないので、免疫のない乳幼児に広がってしまします。一度かかると一生免疫が付きまします。乳幼児期前半は母親の免疫があります。後半は免疫が薄れてくるのでかかることがあります。最近の母親は予防接種世代なので、十分な抗体をもっていない可能性があり注意が必要です。集団生活をしている乳幼児（保育園児）は八ヶ月以上であれば自費で予防接種が受けられます。そして、一歳を過ぎてから改めて注射をする必要があります。（抗体が中和されることがあるので）

はしかの予防接種は二年前から一歳時と六歳時の二回接種法に変わりました。この場合、はしかと風疹「MR」のワクチンで行います。以前は一回接種で抗体ができると考えられていましたが、最近問題になったように大学生、成人になっても抗体がないことが意外に多く、ワクチンの接種が必要になりました。従って、現在の小学一年生以下の人は二回、小学校二年生以上の人は小学六年、高校一年時に追加接種を行うことになりました。これまでいわゆる先進国で一回接種であったのは日本だけで「はしかの輸出国」という汚名を着せられています。保育園児は一歳前に行くことも検討しますが、いずれにしても一歳を過ぎたらできるだけ早くMRワクチンを受けることをお勧めします。

文責

橋本小児科

橋本 倫太郎

## 絵本の紹介コーナー

『きんぎょがにげた』  
きんぎょが鉢の中から逃げ出しました。  
カーテンの模様の中に、お花の上に...  
さあ、見つかったかな。

五味 太郎 作・絵  
福音館書店



## 折り紙であそぼう!!! ~ヨットを作ろう~



水あそびの季節です。水をはじく紙でヨットを作れば、水に浮かべることでもでき、子どもも喜ぶでしょう。

《作り方》

